



ベガルタ仙台は、 25周年を迎えました。

ベガルタ仙台は東北に初めてプロサッカークラブをつくらうという地域の皆様の想いのもと、
33万2千名の署名が集まり、1994年にブランメル仙台としてスタートいたしました。

これまでのあゆみ(過去)とこれから(未来)をつなぐ「絆」。

ファン、サポーター、地域の皆様、自治体、企業、クラブをつなぐ「絆」。

2019年はクラブ創立25周年となります。

これまで支えていただいた皆様への感謝と同時に市民・県民クラブとしての原点に立ち返り、

サッカー(フットボール)を通じて絆をつなげていくということを

改めて実現していきたいと考えております。

また、クラブの哲学、果たす使命として『絆フットボール』を宣言し、

次の四半世紀に向けたメインスローガンといたします。

絆フットボールの精神をベースに「KIZUNA未来プロジェクト」をスタートし、

新たな歴史を刻んでまいります。

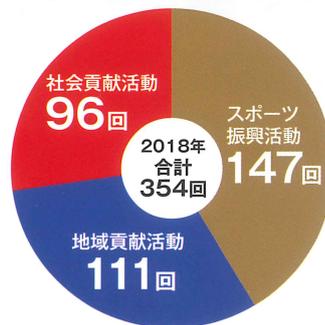
■ホームタウン活動について

地域の人々に愛されるプロサッカークラブとして、
豊かなスポーツ文化の創造、青少年の健全な育成および地域の活性化を。



Jリーグでは、Jクラブの本拠地として定めた特定の市町村を、「ホームタウン」と呼んでいます。そしてJクラブはそれぞれのホームタウンにおいて、「地域社会と一体となったクラブづくり(社会貢献活動)を行い、サッカーをはじめとするスポーツの普及および振興に努めなければならない」(Jリーグ規約第21条)とされています。ベガルタ仙台でも、選手、スタッフ、クラブコーディネーター、ベガッ太、ベガルタチアリーダーズを中心に様々な活動を行っています。クラブコンセプトに地域との関わりを掲げ、仙台市、宮城県を中心にホームタウン活動を通じて地域密着と街づくりを支援しています。

2018シーズンホームタウン活動実績



ベガルタ仙台ホームタウン活動モデル



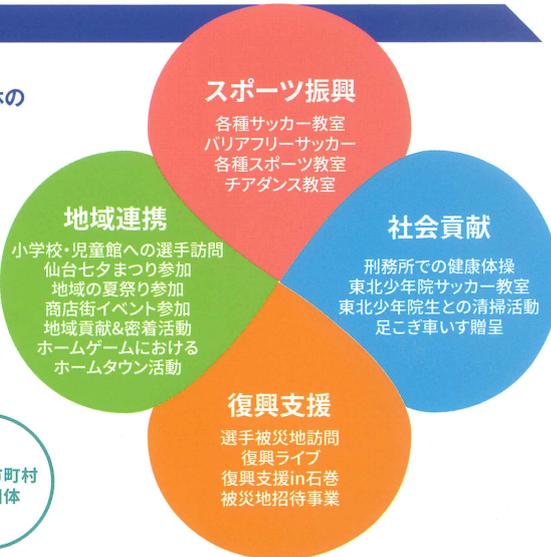
スポーツ
カルチャーシティの
実現化

- 豊かなスポーツ文化の振興
- 経営基盤の改革
- **地域活性化への貢献**
- 県民の心身の健全な発達への寄与
- 青少年の健全育成

ベガルタ仙台ホームタウン活動

仙台市、宮城県を中心に行っている
ホームタウン活動は、県内各市町村、団体の
尽力によって成り立っています。

- ベガルタ仙台ホームタウン協議会
- ベガルタ仙台・市民後援会
- 社団法人宮城県サッカー協会
- ベガルタ仙台ボランティアクラブ&MELON
- ベガルタ仙台レディース後援会 他



選手のセカンドキャリア支援

選手にとってホームタウン活動は「社会からどのように見られているのか」を実感できる機会でもあります。様々な場面で自身の体験を発言したり、対話することで社会との接点を増やし、選手自身がセカンドキャリアを見通すきっかけにもなっています。

ホームタウン活動をリーグ内でトップクラスへ

ベガルタ仙台は、ホームタウン活動の活発なクラブ、ホームタウン活動のモデルクラブを目指します。強いクラブ、観客動員に優れるクラブ、フェアプレーなクラブを目指すことと同様、ホームタウン活動の内容、質にこだわり取り組んでいきます。